

令和3年度 活動報告

2021年4月1日から 2022年3月31日まで

特定非営利活動法人 Reframe

1. 活動の成果

(1) 4月～ 団体設立、物件の改装

2021年4月1日に任意団体を設立し、京都府京都市中京区西ノ京平町28番地の物件を契約した。

洗面台、キッチンがない家だったため改装工事を行う必要があり、その費用をクラウドファンディングにて集めることにした。CAMPFIREの「Good Morning」を活用し、4月14日から139万円の目標金額で資金調達を開始、5月26日までに183人、1,510,000円のご支援をいただいた。事務手数料を除いた1,361,412円を入金いただき、改装費及びキッチン、洗面台、エアコン、照明器具の設置をすることができた。

(2) 5月～ 子どもと若者の居場所事業開始

5月2日、3日と2日間、オープン前の無料見学・体験会を実施した。子ども、保護者、他施設の支援者さん等、両日6～8名見学に来られました。オンラインでの参加もあり、神奈川、大阪などからも体験をされた。

5月6日に「くらら庵」をオープン。1日あたり1～3人の利用者のため、まだまだ認知を広げる必要があった。

5月16日(日)オープニングイベント無料お楽しみ会を実施。円町周辺に住む子どもたちが遊びにきてくれた他、京都広域からも不登校の相談、利用相談にお越しいただくことができた。参加人数はおおよそ30人～40人でした。ぷにだますくい、スライム作り、コイン落とし、アイロンビーズ、アロマスプレー作り、スクラッチアート等で楽しんでもらった。



8月10日～20日の平日9日間では、小中学生の夏休みの宿題や自由研究ができる「なつやすみ教室」を実施した。大学生5名をアルバイトとして時給1,000円で雇用し、毎日大学生が常時いる状態を作った。不登校ではない子ども、不登校だけでも居場所に行きづらかった子どもが来る機会になった。1日平均2.4人の利用で、計17人の子どもたちが利用した。



9月からは、不定期で月1~3回程度屋外活動「とびだせ！くらら庵」を実施した。

普段、なかなか外で体を動かすことがない子どもたちに思いっきり遊んでもらうことを目的にしながら、「不登校でも堂々と外出しても大丈夫！」という経験を積み重ねてもらっている。

御所、博物館、美術館、公園、水族館、科学館などに出かけ、いろんな学びを得る体験をしている。

	場所	子ども参加人数	大人
9月22日	御所	3	2
9月29日	梅小路公園	3	2
10月13日	京都水族館 梅小路公園	6	2
10月28日	宝ヶ池公園	8	2
11月24日	大文字山	5	2
12月8日	八坂神社 円山公園 漢字ミュージアム	6	1
12月15日	青少年科学センター	6	4
12月23日	クリスマス会	8	5
1月20日	伏見稲荷神社	10	2
1月26日	京都市植物園	7	2
2月9日	京都市動物園	6	2
2月17日	天王山ハイキング	6	3
3月3日	京都水族館 梅小路公園	7	2
3月10日	嵐山	8	4
3月24日	宝ヶ池公園	7	2



5月から3月までの実施日数、利用者人数、利用料は下記になる。

	実施日数	利用者数	1日平均人数	利用料	1人あたりの料金
5月	18	20	1.1	¥12,500	¥625
6月	22	22	1.0	¥22,500	¥1,023
7月	20	21	1.1	¥19,000	¥905
8月	20	35	1.8	¥23,500	¥671
9月	20	40	2.0	¥41,000	¥1,025
10月	21	61	2.9	¥53,000	¥869
11月	20	52	2.6	¥67,500	¥1,298
12月	20	74	3.7	¥75,500	¥1,020
1月	18	66	3.7	¥96,500	¥1,462
2月	15	66	4.4	¥98,000	¥1,485
3月	22	120	5.5	¥160,000	¥1,333
計	216	577	2.7	¥669,000	¥1,159

家賃 50,000 円、水道光熱費 15,000 円～20,000 円が利用料でまかなえるようになったのは 12 月であった。それまでは体験の人も多かったため利用料での収入が少なくなっていたこと、また 1 日平均が 3 名未満であったことから利用者が少なく収入も少なくなっていたことがわかった。事業開始から 8 ヶ月経った時点で、ようやく居場所の認知も広がってきたのだと実感できた。

居場所としての助成金は、下記を活用した。

- 2021 年度 京都府「地域交響プロジェクト（協働教育）」 308,000 円
人件費、交通費、備品、諸費など
- 赤い羽根全国キャンペーン「いのちをつなぐ支援活動を応援！～支える人を支えよう～」10 万円
5 月～6 月の交通費、広報費、ドアチャイム

居場所事業では、子どもたちの「体験を通じた学び」を重視することから年間を通して、様々な体験活動を企画、実施した。幼児、小中生を中心に多くの人に参加した。

	体験テーマ	子ども	大人
7月31日 8月1日	自然体験・キャンプ	36	21
10月3日	アート体験・エコバックづくり	36	17
10月31日	収穫体験・いも掘り	19	9
11月28日	収穫体験・柿狩り	8	5
12月5日	アート体験・タペストリーづくり	26	13
1月30日 2月6日	自然体験・ワカサギ釣り	コロナ蔓延のため中止	

体験活動としての助成金は、下記を活用した。

2021年度 一般社団法人「一枝会」情熱教育支援制度『やってみ！チャレンジ』 300,000円
キャンプ、いも堀り

- 令和3年度子どもゆめ基金 110,000円
エコバック、タペストリー、ワカサギ釣り



(3) 7月～ こども食堂事業開始

毎月第三日曜日にこども食堂を実施した。調理スタッフは9時集合、片付け終わり次第解散とした。食堂の開催時間は11時～14時とし、コロナ禍を考慮して食堂内飲食、持ち帰り、宅配を同時並行で実施した。

キッチン用品、キッチン設備が不十分であったため、さまざまな助成金を活用した。

- 令和3年度 京都市子どもの居場所づくり支援事業補助金 78,000円
家具（机、イス）、トイレ修繕に使用した物品、トイレ用品、電球、火災報知器等
- 令和3年度 京都府きょうとこどもの城づくり事業(きょうと子ども食堂)
開設：200,000円 冷蔵庫、オーブンレンジ、炊飯器、食器類、お箸、スプーン、フォーク等
運営：99,000円 食材、消耗品等
- 令和3年度オムロン基金 120,000円
キッチン設備、照明器具、エアコン、靴箱用品、アルコール、アクリルパーテーション等
- 2021年度 オリックス宮内財団子ども食堂応援プロジェクト（秋の助成）
運営：274,000円（予定） 行事保険、アルコール詰め替え、チラシ印刷代
設備：127,000円（予定）レンジ台、折りたたみワゴン、カセットコンロ、水切りラック、ホットプレート等

利用者の人数推移は下記になる。

居場所と同じく、12月から安定して20名（定員）以上の予約が入っている。

	子ども	大人	合計	収入
7月	9	8	17	3,300
8月	14	10	24	4,400
9月	7	7	14	2,800
10月	3	3	6	1,200
11月	4	7	11	2,500
12月	15	11	26	4,800
1月	13	6	19	3,100
2月	20	18	38	7,400
3月	16	9	25	4,300

食材は下記の企業からご協力いただいている。

- 魚： 株式会社サン食品 様（無料）
- 野菜： 西喜商店 様（1回 2,000円）
- 果物： 株式会社鳥羽伊三 様（1回 2,000円）
- 寄付食品： 米、鯖の缶詰、お好み焼き粉 等

7月

くらら庵こども食堂
7月18日メニュー

- ・白ご飯
- ・全目鯛の唐揚げ
- ・なすのパン粉焼き
- ・もみレタスと水菜の塩昆布サラダ
- ・白菜、にんじん、わかめの味噌汁
- ・ちんげん菜、コーン、アスパラのオイスター炒め
- ・くだもの(りんご、バナナ、プラム)



8月

くらら庵こども食堂
8月15日メニュー
11時～14時まで

- ・白ご飯
- ・プリの貝だくさんアクアパッツァ
- ・焼き枝豆
- ・オクラとなすの煮湿し
- ・ほうれん草と白菜のおひたしサラダ
- ・ちんげん菜の味噌汁
- ・くだもの

こども 100円 おとな 300円



9月

くらら庵こども食堂
9月19日メニュー
11時～14時まで

- ・白ご飯
- ・白身魚のマヨシモフライ
- ・青ナスの焼肉風ステーキ
- ・赤甘とうがらしの焼き湿し
- ・ジャガイモのオムレツ
- ・野菜たっぷりガーリック炒め
- ・キャベツの味噌汁
- ・くだもの

こども 100円 おとな 300円



10月

10/17 (日)
11～14時
くらら庵こども食堂
メニュー



さんまのカレー風味焼き



なすと大葉の甘辛煮



しゅうなの和え物



エッグポテソフ



氷菜のおひたし

こども100円
おとな300円

予約いりません
限定20食
※持ち帰りも可能です



11月



12月



1月



2月



3月



8月から、理事の川添幸子さんからの提案で、子どもの調理体験、ボランティア体験の場としても活動を始めている。毎月2名以上の子どもたちが調理を手伝ってくれており、体験活動の場としても活用ができています。



(4) 8月～ 不登校の親の会事業

8月から毎月第2日曜日に親の会を実施した。(11月は朝倉、美濃羽ともに予定が合わず中止)
親の会の名前は、初回の会で「ねこのより道」に決定した。

	参加人数	ボランティア	参加費	テーマ	ゲスト
8月	6	2	3,000	会の名前を決めよう！	
9月	2	2		お話会	
10月	4	1	2,000	お話会	
11月				(おやすみ)	
12月	8	6	4,000	不登校経験者のお話を聞く	花園大学 吉田伊織さん
1月	6	5	3,000	不登校経験者のお話を聞く	京都府立大学 浅井天哉さん
2月	6	2	3,000	自宅でできるセルフケア	鍼灸師 菅原美幸さん
3月	10	4	4,500	不登校経験者のお話を聞く ～親子の話～	滋賀大学 恩庄真理さん お母さん

参加者の声をもとに、12月からは不登校経験者のゲストをお招きして経験談をお聞かせいただいた。

(謝金を、1人あたり3,000円をお渡ししている)

テーマを明確にしたことで、参加者も増加した。不登校経験でも様々な進路を選択されている方にお話を聞くことで、学習や進路の参考にさせていただいている。このテーマは、2022年度も継続している。



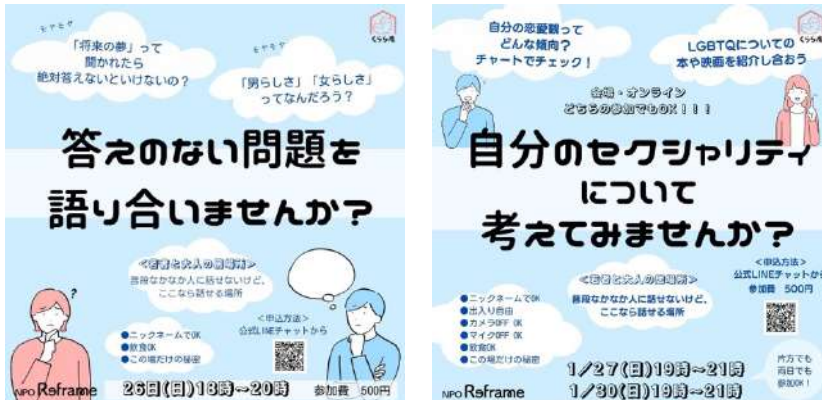
(5) 8月～ 当事者会事業

8月から、第2日曜日親の会の後の時間に実施した。

当事者会の名前は、初回の会で「ここすぺ～心のスペースをつくろう会～」に決定した。
しかし、当事者会は参加者がこないため、11月で休止している。

	参加人数	参加費	テーマ
8月	3	1500	会の名前を決めよう！
9月	1	500	体調コントロール
10月	0	0	お話し

その代わりに、生きづらさのある大学生の提案で「若者と大人の居場所」を2回開催した。

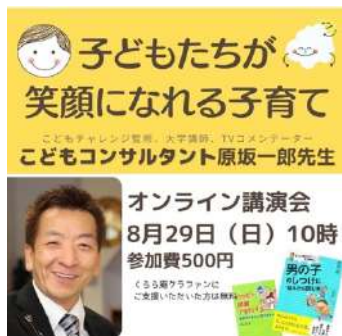


	参加人数	ボランティア	参加費	テーマ
12月	3	4	1500	答えのない問題を語り合おう
1月	0	3	0	自分のセクシャリティについて

匿名性を保ちながらフラットな対話の場づくりを心がけることで、各々の内面の困りを話やすくした。

(6) 支援者交流、勉強会事業

4月に実施したクラウドファンディングのリターンに講演会を2つ挙げ、下記日程で実施した。



参加者 42人



参加者 94人



澤田二三夫先生の講演会は、会場とオンラインのハイブリッド開催をした。会場を借りるために、下記助成金を活用した。

- 令和3年度 ウィングス京都・市民活動サポート事業 178,000円



3月23日には、「普通救命講習Ⅲ」を実施した。

理事とボランティアを合わせて7人が参加し、人工呼吸、心肺蘇生、AEDの使用について座学と実習を3時間行った。講師は理事の吉田伊織さんとその友人の中村剛士さんにご協力いただいた。



(7) その他の事業

① レンタルスペース事業

スペースマーケットを活用し、土曜日、祝日の貸し出しを行った。

<https://spacemarket.com/p/sp/5k1tecfn2of23uqk>

11月 1件 1,000円

1月 1件 3,850円

(8) その他

① ラジオ・YouTube の活用

認知度を上げるために、オンラインラジオ、YouTube を活用した。

朝倉と美濃羽での対談を流している。

- Himalaya Studio <https://www.himalaya.com/album/2991617>
- Stand FM <https://stand.fm/channels/60aff7c6b82bc5e1f39e57d0>
- YouTube <https://www.youtube.com/channel/UCZ0FHrq1DLJbNTtAxThmq4Q>
- YouTube くらら庵の紹介動画 <https://youtu.be/7QTMdAbK0Q>



② 公益財団法人京都市男女共同参画推進協会

不安を抱える女性に寄り添った相談支援事業に参加し、生理用品の無料配布を実施しました。



③ 12月18日 市縁堂に参加

Reframeの活動紹介のプレゼンテーションと、ブースでの相談会を実施した。

寄付金 18,883円をいただいた。



④ 2月18日 京都市中京区社会福祉協議会 中京区地域福祉推進委員会 主催

令和3年度 福祉のまちづくりを考える区民集会

「悩みや不安を抱える児童、若者、壮年期の方々と地域のつながり」

児童部門にてReframeの活動紹介を行った。コロナ蔓延中だったため、動画配信となった。

<https://youtu.be/0mjWgfZHE9Q>



⑤ 2月22日 生活協同組合生活クラブ京都エル・コープ 共育リーダー養成講座

「自分たちで必要な居場所を作った事例「くらら庵」の取り組みについて」講演

講演料 20,000円をいただいた。



⑥ 3月5日 「第9回京の公共人材大賞」 スポンサー賞、オーディエンス賞 受賞



⑦ バザーの実施

1月10日(日) 売上 22,190円
 3月27日(日) 売上 20,360円

⑧ メディア掲載、出演

2021年5月4日 京都新聞 教育欄
 2021年5月17日 KBS京都ラジオ 笑福亭晃瓶のほっかほっかラジオ
 2021年5月20日 α-station/FM京都 番組「Morning SPRITE」コーナー「SPRITE TALK」
 2021年8月 株式会社学びリンク 月刊学びREVIEWS
 2021年11月21日 京都新聞 教育欄



2. 事業実施体制

(1) 会員

- ① 正会員 21 人
- ② 賛助会員 登録は 0 人

(2) ボランティア

登録 42 人

(3) 連携グループ

① 福祉団体

- 京都市社会福祉協議会
- 中京区社会福祉協議会
- 民生委員

② 学校

- 四条中学校
- 岩倉南小学校
- 新町小学校
- 御所東小学校
- 錦林小学校
- 竹田小学校
- 向日市立向陽第 5 小学校